



完成図

この葉梨の地に開院して十年となります誠和藤枝病院は、このたび六十二床の増床と、敷地面積の大幅な拡張工事を行い、介護力強化病院として、またデイケア施設として、さらに快適な環境を整えて新たに出発いたします。地元葉梨地域の方々の有形無形のご支援、藤枝市立総合病院をはじめとする近隣の病院、志太医師会、保健所、各種行政機関のご指導ご協力によつて、ここまで至つたことを深く感謝するともに、これから我々の使命を深く認識して、覚悟を新たにしております。

現在我が国の六十五歳以上の人口は千九百四十四万人で総人口の十五・四%を超える、そのうち介護を必要とする高齢者は西暦二千年には二百八十万、西暦二千二十五年には五百二十万人となると試算されます。厚生省の新ゴーラードプランは高齢者福祉の為の施設サービスのさら

『誠和藤枝病院は一人一人の患者さんと共に』

院長 浅川建史

せ
わ

藤枝市中ノ合26-1
医療法人社団 八洲会
誠和藤枝病院
(054) 638-3111(代)

診療時間
月～金
午前9:00～午後5:00
土
午前9:00～午前12:00

なる充実を謳つております、またいくつかの問題を残しながらも、介護保険は西暦二千年四月から開始と決まりました。しかし私たちは、どのように設備や制度が充実しようとも、患者さんを支えるものは直接的な生身の人間による精神的物理的介護であるという認識をさらに新たにし、これら今まで通り地道に患者さん一人一人を大切にお世話させていただきたいと考えています。幸いな事に、誠和藤枝病院は、各部門の多くの優秀なスタッフに恵まれ、多少古く手狭になつて不自由をかけた病棟にもかかわらず、ご利用のご家族から、有り難い評価を頂いて参りました。志太地区から通う地域職員の思慮深く、我慢強い元々の気質もありますが、このマンパワーこそ誠和藤枝病院の身上として、これからも引き継いで参りたいと考えております。

高齢者を取り巻く環境は多種多様で、抱える家族の葛藤の複雑さも様々です。高齢者が、誰に遠慮することのない、堂々とした老後、誇り高い老後を送れるように、そして家族が老人を尊敬し、感謝して、心安らかに見守れる環境を作る為には、我々従事者が正確で適切な医療、介護を提供することに加えて、安易な感情論や上滑りの理屈を避け、バランスの取れた人間性を持ち、いつも謙虚な態度で、自分自身を向上させる勤勉さを持ち続けられることが最も大切なことです。

増床について

事務局長 山本義雄

近年高齢化の進展、慢性疾患の増加等による疾病構造の変化、医療の質の向上に対する要望の高まり等、我が国の医療を取り巻く環境は著しく変化しています。

このため、要介護者の増大への対応、地域に必要な医療の確保が、大きな課題となっております。

当院は、このような課題に対処し、地域の病院として、その責務を十分に果たすべく増床を計画し、良質かつ適切な医療を必要とされる方にタクミリーに提供できる体制づくりをめざしております。

計画では、入院の受け入れ体制の充実、老人デイ・ケアの実施を図ることとしております。

まず、入院のベット数を62床増床し、既存ベット116床と合せて178床として、慢性疾患の患者さんの受入れを可能とともに、看護部門の介護に大きく比重を乗せ、入院生活により安定感を持たせるよう配慮しております。

また、老人デイ・ケアを開設し、

多くの方々にご利用いただけますよう計画しています。デイ・ケアルームとデイ・ケア専用浴室を整備し、明るく楽しい安心できるデイ・ケアをめざしています。

当院が平成元年4月に、116床でスタート以来、早や9年を経過いたしました。

ここ数年は、満床状態が続いておりますが、これもすべてに慢性疾患の老人の患者さんをお預かりする地域の病院として、皆様に厚く信頼され親しまれるよう常に努力を続けてきたためと認識しております。この度の計画では、増改築工事の完成は6月下旬を予定しております。これを機に医療の質的向上と、サービス充実に向け、一層の努力を重ねる所存でありますので、今後とも関係各位のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



2月3日 豆まき



1月5日 福わらい

病院・施設等の清潔環境をお手伝い致します。

株式会社 中部リネンサプライ

〒430-0902 浜松市曳馬5丁目18番10号
TEL(053) 472-1388
FAX(053) 474-1417

医療ガスと設備関連機器の総合商社

株式会社 千代田

静岡営業所
〒425-0071 焼津市三ヶ名1495-1
TEL(054) 628-5357

老人用ベッド・車椅子・介護用品医療

東西医用器株式会社

本社 静岡市千代田5丁目3番9号
TEL(054) 245-5746(代)
FAX(054) 246-1441
営業所 静岡・浜松・富士・沼津

食べる楽しみを

栄養士 神田久美子



『食べることは楽しみで

ある』と

思つてい

た私が、

その楽しみを奪うような病院給食に疑問を感じ栄養士を辞めたのは、今から十余年前のこと。そのころの病

院給食は治療のための食事であるから『良薬は口に苦し』と言うように、おいしくなくても身体のことを考えれば仕方がないという考え方が主でした。しかし近年、病院給食は大きく方向転換し、おいしく食べること

ができるような配慮がなされてきています。栄養的に満点の食事であっても、食べなければ、それは治療食としての意味がないのだから。

おいしいものを食べて満足するの

言によって拡がった景色なのかもしません。殺風景な病院給食という絵に「おいしいもの」という色づけをすることができるのです。そうすれば、食べることができると思っています。



2月27日のお食事会メニューは“おでん”

切り絵 の コーナー

切り絵 看護婦 村松和子



墨絵 介護職員 杉山容子



医療給食とカフェテリアシステム



静岡事業本部

富士産業株式会社

〒422-8067 静岡市南町6-1(南町第1ビル3F)
TEL (054)282-8311(代)
FAX (054)282-8344

本社：東京都港区新橋5-32-7(F Iビル)
TEL (03)5400-6111

新しい時代の地域医療の担い手に



健康に奉仕する
医療の株式サン'AI

本社 静岡市鷹匠2丁目23-23 TEL (054)254-4471
支店 静岡・沼津・富士・清水・藤枝・掛川

総合ビルメンテナンス

大鵬

〒426-0087 藤枝市音羽町4-14-1
TEL (054)643-8114
FAX (054)643-8130

看護婦 大石裕子

長い間専業主婦でしたが、働きはじめてから5年目になります。

両親は健在ですが、これからどんな形で人のお世話になるか分かりません。今私のしている仕事は、巡り巡って私の両親、そして未来の私自身を看護している事になるのかなと思う時があります。

趣味は読書です。最近心に残った本は飯嶋和一の『神無き月十番目の夜』です。何故一村皆伐が行なわれたか興味のある方は一読を。



介護職員 高木芳子

誠和藤枝病院に勤めるようになって早いもので四年の月日が経ちました。

母の病いがきっかけで病院にお世話になることとなりましたが、『介護という仕事をやってみたい』という気持ちと、『私に出来るかしら』という気持ちで最初は不安でした。しかし患者さんの『笑顔』と『ありがとう』の言葉にそんな不安も消えました。

これからも『患者さんの立場になつて』といふことをいつも心にとめ、やさしさと笑顔を忘

れずに一生懸命介護させていただきたいと思ひます。

クラーク山口知子



ます。

人生を長く生きて来た先輩である患者さんの笑顔を見たり、お話をすることが何よりも楽しみであり、励みになります。

患者さんが安心して療養出来る様に微力ながら笑顔と元気で頑張ります。

病棟事務としての仕事が大部分です。看護婦さんやヘルパーさんと同様に、患者さんと触れ合う機会も多く、忙しいなかにも、充実した日々を過ごしています。



患者さんも豆まきに参加しました

編集後記

感動の長野冬期オリンピックも閉幕しました。ちょっとばかり春の気配が漂よい、患者さんも春の訪れを心待ちにしています。

